

2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 哲平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務部長 (氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の業績 (2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	746	△7.5	88	△44.7	89	△41.7	62	△41.6
2018年9月期第3四半期	806	△12.2	160	△26.8	153	△30.2	106	△25.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年9月期第3四半期	58.39		58.31					
2018年9月期第3四半期	103.29		100.88					

(注) 当社は、2017年10月5日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ上場したため、2018年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2018年9月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,999	1,646	82.4
2018年9月期	1,795	1,638	91.2

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 1,646百万円 2018年9月期 1,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想 (2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,130	△7.0	105	△48.0	105	△44.9	71	△38.2	66.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年9月期3Q	1,073,000株	2018年9月期	1,073,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2019年9月期3Q	6,706株	2018年9月期	49株
------------	--------	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年9月期3Q	1,066,166株	2018年9月期3Q	1,031,930株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和等により、雇用環境の改善や、企業収益等の改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。

一方、世界経済においては、米中の貿易摩擦を背景に企業業績の一部に陰りが見え、先行きは依然不透明な状況となっております。

化学業界におきましては、一部原材料価格が上昇傾向にあることに加え、資源国や新興国経済の減速懸念、米国の対外政策の影響による為替・株式市場の変化等、依然として先行き不安定な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は3か年中期経営計画（2019年9月期～2021年9月期）を策定しております。

具体的な課題として、

- ①人材の採用及び育成
- ②既存サービスの収益基盤強化
- ③新規サービスの成長
- ④経営管理体制の強化

等に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

しかしながら、米中貿易摩擦による一部大口顧客の在庫調整の影響を受けて売上は伸び悩み、当第3四半期累計期間における売上高は746,101千円（前年同期比7.5%減）となりました。利益面におきましては、本社移転に係る費用の発生や製造及び営業人員等の増強に伴う人件費の増加があったため、営業利益は88,719千円（前年同期比44.7%減）、経常利益は89,158千円（前年同期比41.7%減）、四半期純利益は62,253千円（前年同期比41.6%減）となりました。

なお、当社は精密蒸留事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当社事業の売上区分別の業績は次のとおりであります。

#### (研究開発支援)

企業の活発な研究開発活動に支えられ、石油関連の研究開発案件は増加したものの、電子材料向けの研究開発案件が減少したことにより、研究開発支援売上高は、156,651千円（前年同期比3.9%減）となりました。

#### (受託加工)

営業人員を増強する等の顧客対応充実に注力したこと及び企業の堅調な生産活動に支えられ、電子材料向け及び石油関連の受託案件は増加したものの、工業用材料向け及び化粧品関連の受託案件が減少したことにより、受託加工売上高は、580,329千円（前年同期比4.5%減）となりました。

#### (プラントサービス)

研究開発用案件及びメンテナンスサービスの受注を獲得したことにより、プラントサービス売上高は、9,120千円（前年同期比74.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ203,476千円増加し、1,999,358千円となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ39,922千円減少し、1,159,715千円となりました。主な要因は、有償支給案件の材料の受入れにより、原材料及び貯蔵品が59,357千円増加したものの、売掛金が77,267千円及び現金及び預金が22,860千円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ243,398千円増加し、839,642千円となりました。主な要因は、連続蒸留塔の完成等により、機械及び装置（純額）が169,267千円及び建物及び構築物（純額）が74,314千円増加したことによるものであります。

②負債

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ195,172千円増加し、352,820千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ195,172千円増加し、352,820千円となりました。主な要因は、賞与引当金が12,282千円減少したものの、未払金が146,853千円及び買掛金が54,112千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ8,303千円増加し、1,646,537千円となりました。主な要因は、公開買付により自己株式を取得したことで自己株式が13,902千円増加したものの、四半期純利益の計上等により、利益剰余金が22,206千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2019年5月9日の「2019年9月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	908,725	885,865
売掛金	189,982	112,715
商品及び製品	48,215	31,517
仕掛品	27,966	27,625
原材料及び貯蔵品	12,894	72,251
その他	11,854	29,741
流動資産合計	1,199,638	1,159,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	228,571	302,885
機械及び装置(純額)	211,134	380,401
土地	63,518	63,518
建設仮勘定	29,557	17,916
その他(純額)	31,723	30,111
有形固定資産合計	564,504	794,833
無形固定資産	2,151	5,386
投資その他の資産		
投資その他の資産	35,207	45,041
貸倒引当金	△5,620	△5,620
投資その他の資産合計	29,587	39,421
固定資産合計	596,243	839,642
資産合計	1,795,881	1,999,358
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,527	58,639
未払金	89,534	236,387
未払法人税等	528	9,280
賞与引当金	17,228	4,946
その他	45,829	43,566
流動負債合計	157,647	352,820
負債合計	157,647	352,820
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	346,335	346,335
資本剰余金	312,876	312,876
利益剰余金	979,140	1,001,347
自己株式	△119	△14,022
株主資本合計	1,638,233	1,646,537
純資産合計	1,638,233	1,646,537
負債純資産合計	1,795,881	1,999,358

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	806,343	746,101
売上原価	423,553	413,038
売上総利益	382,790	333,062
販売費及び一般管理費	222,479	244,343
営業利益	160,311	88,719
営業外収益		
雑収入	398	570
営業外収益合計	398	570
営業外費用		
株式交付費	4,013	—
固定資産除却損	3,650	0
その他	22	131
営業外費用合計	7,685	131
経常利益	153,023	89,158
税引前四半期純利益	153,023	89,158
法人税、住民税及び事業税	26,635	23,707
法人税等調整額	19,800	3,197
法人税等合計	46,435	26,904
四半期純利益	106,587	62,253

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,000株の取得を行いました。また、2019年1月17日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決議し、これに基づいて2019年2月15日に自己株式3,400株の処分を実施いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が13,902千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が14,022千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。